

2005年 10月 近畿支部 機械システム部会

日 時：平成 17 年 10 月 8 日（土）14:00～17:00（神戸市産業振興センター9F）

参加者：26 名

テーマ：「私の歩んだ技術・技術士業務の道程」

講 師：山出 一彦氏（技術士：機械部門）

講演内容

1. 現場技術：「技能」と「技術」とは異種のものではなく、一体

2. 海外出張

昭和 36 年 10 月米国グリーンソン社主催の 3 週間講習会に参加。講習会終了後、工作機械・歯車・変速機・工具等のメーカーを歴訪。

昭和 44 年欧州の工作機械・歯車・変速機メーカーを歴訪。主として技術提携（多板クラッチ付船用 2 機 1 軸用減速機）の技術習得。

3. 技術業務新技術の考案・実施例

ピットマンシャフト（車の舵取り用セクター円錐歯車）の切削

ダブルヘリカル大形かさ歯車のホブ盤による歯切（講師の技術士試験体験論文）

「強力錨鎖の製造方法」の題名で特許

4. 技術士業務の開拓に関して

業務の開拓は、「ただ待つて入るだけで仕事が飛び込んでくるとは思えない」と相当の努力・工夫が必要。講師は下記の行動を実行され、人脈を広げる努力を継続された。

日本技術士会、大阪技術振興協会、兵庫県技術士会の 3 団体に入会し、会合等に参加

学校関係、学会関連、出身企業等などの会合に参加

商工会議所、自治体などの会員・嘱託になる

学会主催の発表会、講演会に講師として出講 等

5. 技術士事務所で体験した主な業務

中小企業の経営良化：ニチフレ島根（社長は学友）コストダウン、不良品減少、安全確保等 7 年間にわたり指導

公共事業の工事監査：北播磨清掃事務組合 技術士 8 名で新設ごみ焼却場建設の工事監査（技術士の代表は学友）

損保会社の事故原因究明（PL）大阪技術振興協会

中国への ODA：JODC（日本海外貿易開発協会）湘南省益陽市「益陽歯車工場」の指導を 8 ヶ月間実施。主としてトラック用変速機の改善業務。

学会や大学での講演会の講師 他

Q & A

Q：技術士として独立して仕事があるのかという不安を持っている人が多い。技術士会として業務開拓は可能か？もし個人では成り立たなくても組織で行動すると何とかならないか？

A：日本技術士会の月刊誌に「海外での仕事」の記事が時々出ている。こういう仕事に応募

すること。又、日本技術士会の他、大阪技術振興協会他複数の学会や団体に所属し、会合等に参加することで仕事をもらうことがある。個人の人脈も大切。複数の会合所属し、会金をつぎ込んでも、1つでも仕事をもらえば元がとれる。

Q & Aの後、講師や間欠機械部会長も参加され、懇談会が開催されました。和やかな雰囲気ながら活発な議論がなされました。

(監修：山出 一彦，文責：山崎 洋右)